

みちひらきの大神

# 猿田彦神社

## 境内之図絵



主神：猿田彦大神 相殿：大田命

ものごとの最初に現れ、万事良い方向へ「おみちびき」になる大神です。  
建築 方除け 災難除け 開運 事業発展 五穀豊穰 大漁満足  
など みちひらきの御神徳で知られています。  
天照大御神の御孫である瓊々杵尊が降臨される際に  
高千穂の峯に導かれました。  
また、御斎の大田命が皇女・倭姫命をお迎えし、  
五十鈴の川上の地を献上し、神宮が創建されました。

いとうしょうは  
伊藤小坡美術館



伊藤小坡の作品を蒐集展示しています。伊藤小坡は明治10年、猿田彦神社宮司・宇治土公貴の長女として生まれ、明治・大正・昭和を通し、京都画壇の中心として活躍しました。歴史画、美人画に傑出しています。



おみた  
御神田

毎年5月5日には豊作を祈って早苗を植えるお祭り「御田祭」が行われます。(三重県無形文化財指定) 桃山時代の民俗衣装をつけた植方が畦方の田楽にあわせて早苗を植える様子は優雅な絵巻のよう。豊作豊漁を占う団扇角力神事や拝殿前の豊年踊も見ものです。伊勢の初夏の風物詩です。



御神輿

昭和初期の御神輿は白質神輿と呼ばれるどっしりとした造り。11月23日に「みちひらき大神輿」として宇治の町を練り歩きます。

本居宣長歌碑

「神世より神の御末とつたへ来て  
名くはし宇治乃土公わか勢」



御本殿

二重破風の妻入造り(=通称:さだひこ造り)。厳かな空気が全身を包み込んでくれます。祝詞殿は優雅な平安時代のしのぶ寝殿造り。神紋は五瓜梅鉢。



神前結婚式

みちひらきの御神徳を仰ぎ、永遠のちぎりを結び結婚式が挙げられます。

参拝休憩所



車輛修祓所

交通安全を祈願します。



青少年館



さるめさん祭



さざれ石



年とともに成長し岩になるとされている縁起のよい石です。

お札授与所



たから石

宝船のような舟形石に、雲を象徴する白蛇がのった目出度い石です。

方位石=古殿地

拝殿正面に昔の神殿跡を押し、方角を刻んだ八角の石柱があります。みちひらきのお力が頂けると人気です。



繪馬

描かれるのは「みちびきの舞」で明治天皇の皇女・北白川房子様御参拝の時お詠み頂いたお歌に、作曲、振付をした当社独自の舞です。願いを良い方向にみちびいてください。  
「さだひこの御名いと高し天くだり  
神代の昔しめびまつれば」



大鳥居



さるめじんじゅ  
佐瑠女神社



御祭神：天宇受売命



赤門



常夜灯



手水舎



子宝池

池畔には神世の昔から子々孫々継承し続けて絶えない宇治土公家の産霊神が祀られています。



いたるところに八角形！

八角は方位を意味し、方位除の御神徳を仰ぐものです。本殿の塀魚木・欄干をはじめ、佐瑠女神社本殿、大鳥居、手水舎の柱など、すべて八角。境内にある八角を探してみましょう。

猿田彦神社 本社

三重県伊勢市宇治浦田 2-1-10 TEL 0596-22-2554 <http://www.sarutahikojinja.or.jp>

